

感染症内科

部長 石田 正之

診療体制

今年は診療体制の見直しをおこない、当科は、1名体制で診療を行う事となった。業務内容としては、これまでと変わりなく、個々の感染症診療だけでなく、病院内の感染対策（Infection control team : ICT）、薬剤耐性菌抑制のための抗菌薬適正使用チーム（Antimicrobial Stewardship Team : AST）活動も担っている。

診療の実際

感染症の専門的トレーニングを受けた、感染症専門医・指導医がいる数少ない施設の一つとして、また学会認定教育施設として質の高い診療の提供を心掛けている。これまでと同様、入院に関しては感染症の疑い症例、すでに感染症の診断がなされているが、治療経過が思わしくない難治症例、不明熱症例などに対するコンサルトを中心に、血液培養陽性例など、重度の高い疾患に関しては、コンサルトの有無にかかわらず、診療介入を行っている。実際昨年のはのべ972症例に介入した。また外来では不明熱や難治性感染症の紹介、梅毒などの性行為感染症の診療、感染症渡航関連感染症が疑われる症例を中心に診療を行っている。2021年開設した海外渡航・ワクチン外来については、2023年は新規受診者110名（のべ198名）の方に利用をいただいた（ワクチン接種希望68名、診断書作成（英文）12名など）。

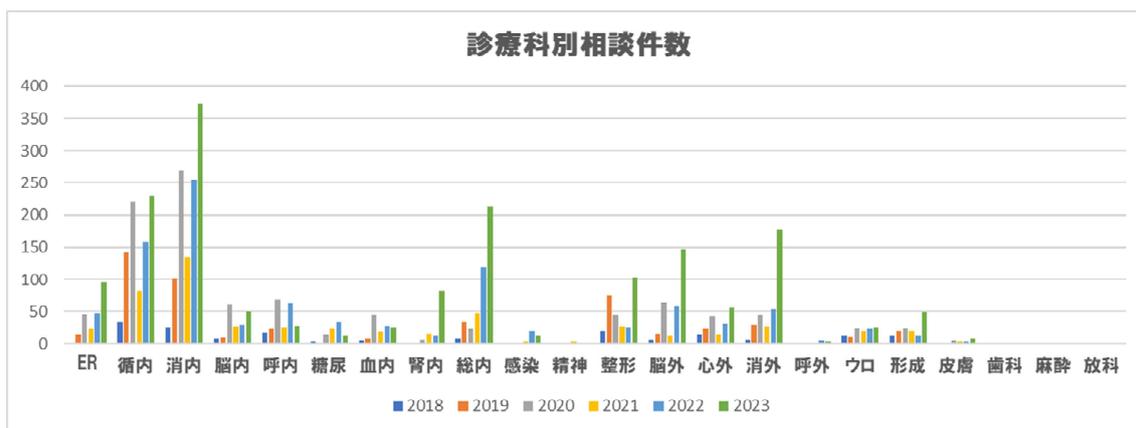
引き続き感染対策委員会やICTチームとの協力を通じて、院内感染対策にも力を注いでいます。ASTも活動も行い、年々その対応件数は増加をしている（2023年は、のべ1672例の症例に診療の介入を行った：表1）。また今年からは、その活動は院内のみならず、感染症を専門とする医療従事者がいない施設に対しても、電話やWebを用いた相談に応じる、もしくは実際に現場出向いて、現場の職員を直接教育しながら、感染対策の従事を図る、専門医療従事者の派遣活動も継続している。

昨年同様学会からは蚊媒介感染症専門医医療機関ネットワーク活動において、蚊媒介感染症専門医療機関（http://www.kansensho.or.jp/mosquito/medical_list.html）に指定されており、専門的な診療を継続している。

SARS-CoV-2感染症に関しては、5月に5類感染症に移行したものの、その感染力に変化はなく、病院内では、常に二次感染の可能性など引き続き注意を要する疾患であり、院内外を問わず、疑い患者の診断、陽性者の診療、感染予防対策に関してはその中心となって従事している。本年も新型コロナウイルス感染症診療重点医療機関として、高知県のSARS-CoV-2感染症重症者の診療の一翼を担い、当科と総合内科を中心に他の診療科とも協働して入院治療もおこなっている。

以前より感染症の治療だけでなく予防にも力を入れており、その一環として、増加の一途をたどっている、肺炎において、最も多い原因である肺炎球菌に対するワクチン接種に関して、積極的に推奨を行っている。前述のように今ワクチン外来の開設により、より多くのワクチン接種に対応可能な環境を整備・強化をしている。

表 1：診療科別 AST 相談件数の年次推移



教育・研究

感染症診療に必要な不可欠な細菌検査技師、薬剤師とは定期的に、レクチャーや症例検討を行い、お互いの質の向上に努め、引き続き各種資格の取得のための研鑽を積んでいる。コロナ禍により活動が制限されてしまったが、失われた2年弱を取り戻すべく、本年は4月より月2回、1回30分程度の感染症基礎レクチャーをASTチームと協働実施した。対象は院内の若手医師、薬剤師を中心としていたが、口コミで評判が伝わり、他の病院、クリニックの看護師や薬剤師、保険薬局の薬剤師、保健所などの行政からの参加者もあり、大きな活動となっている。今後も継続的な開催を考えている。

また学術的な展開としては、引き続き厚労省「成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの構築に関する研究」の研究班に属し、重症感染症の共同研究を継続している。国立感染症研究所と長崎大学との共同研究が行っている、日本人の新型コロナウイルスワクチンの有効性を明らかにする大規模疫学研究（VERSUS）も継続中である。加えて本年より日本の入院を要する呼吸器感染症の大規模疫学研究（APSG-J-2）にも参加し学術活動も積極的に行っている。

課題

メディカルスタッフの知識、能力は着実に向上し、現場の感染症診療チームとしての活動は着実に広がりを見せているが、ニーズに対して人員の不足から十分に対応を仕切れていないのが現状である。引き続き人材の育成、確保を行っていく。

学術発表・講演会等

学会発表

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
当院での <i>Streptococcus anginosus</i> group 感染症における臨床像の菌種別検討	石田 正之, 馬場 咲歩, 三枝 寛理, 中岡 大士	第 97 回感染症学会総会	4月28日～30日 横浜
高齢者施設および障害者施設における SARS-CoV-2 感染症のクラスター対策支援	石田 正之, 馬場 咲歩, 三枝 寛理, 中岡 大士	第 97 回感染症学会総会	4月28日～30日 横浜
高知市の高度急性期病院で発生した, SARS-CoV-2 Omicron 株による大規模クラスター事例	石田 正之, 馬場 咲歩, 三枝 寛理, 中岡 大士	第 97 回感染症学会総会	4月28日～30日 横浜
当院での腸腰筋膿瘍の臨床的検討	馬場 咲歩, 三枝 寛理, 中岡 大士, 石田 正之	第 97 回感染症学会総会	4月28日～30日 横浜
進行食道癌の化学療法中に生じ、ニューモシスチス肺炎 (PCP)、薬剤性肺障害と鑑別を要した	藤原絵理, 三枝寛理, 中岡大士, 石田正之	第 128 回内科学会四国地方会	7月23日 高知

<i>Corynebacterium pseudodiphtheriticum</i> による市中発症肺炎の1例			
高アンモニア (NH3) 血症による意識障害を来した <i>Corynebacterium riegelii</i> による閉塞性尿路感染症の1例	三枝寛理, 藤原絵理, 馬場咲歩, 中岡大士, 石田正之	第128回内科学会四国地方会	7月23日 高知
誘発試験にて薬疹の確定診断に至った、AMPC投与後に伝染性単核球症(IM)が判明した多型紅斑型皮疹の1例	佐々木康介, 藤原絵理, 三枝寛理, 中岡大士, 石田正之	第128回内科学会四国地方	7月23日 高知
<i>Corynebacterium pseudodiphtheriticum</i> による市中発症肺炎の検討	中島太朗 馬場咲歩 藤原絵理 三枝寛理 中岡大士 石田正之	第93回感染症学会西日本地方会総会	11月9日~11日 富山
高アンモニア血症による意識障害をきたした <i>Corynebacterium riegelii</i> による閉塞性尿路感染症の1例	竹田有佑 馬場咲歩 藤原絵理 三枝寛理 中岡大士 石田正之	第93回感染症学会西日本地方会総会	11月9日~11日 長崎
<i>Parvimonas micra</i> が検出された急性膿胸の検討	城可方 馬場咲歩 三枝寛理 中岡大士 石田正之	第93回感染症学会西日本地方会総会	11月9日~11日 長崎
胆管炎患者に対するAS活動の取り組み	高橋佐和, 石田正之	第93回感染症学会西日本地方会総会	11月9日~11日 長崎
オミクロン株流行期のSARS-CoV-2感染症に侵襲性肺炎球菌感染症(IPD)を合併した2症例	石田正之 馬場咲歩 藤原絵理 三枝寛理 中岡大士	第93回感染症学会西日本地方会総会	11月9日~11日 長崎
重症菌周炎を有する急性膿胸症例における検出微生物の検討	石田正之 馬場咲歩 藤原絵理 三枝寛理 中岡大士	第93回感染症学会西日本地方会総会	11月9日~11日 長崎

講演

演題	発表者 共同研究者	講演会名など	開催
ASTに相談の多い真菌感染症のあれこれ-Candida感染症を中心に-	石田正之	高知真菌症フォーラム	2月24日 高知
新型コロナウイルス感染症最近の話題と内視鏡診療のNew Normal	石田正之	高知県消化器内視鏡技師会レベルアップ研修会	4月9日 高知
新型コロナウイルス感染症治療薬について-5類移行目前に控えた今だから、改めてコロナ治療について整理をしておこう！-	石田正之	高知県新型コロナウイルス感染症セミナー	4月24日 高知
感染症の基礎知識	石田正之	高知県感染管理担当者研修会	5月27日 高知
忘れていませんか、高齢者の肺炎予防-コロナ時代だからこそ考えたい、肺炎球菌ワクチンの重要性-	石田正之	Pfizer 肺炎予防 Web セミナー	8月28日
新型コロナウイルス感染症における抗ウイルス薬治療について-その適正使用を考える-	石田正之	MSD 感染症 Web セミナー	9月4日
ポストコロナを考える時代だからこそ重要な肺炎予防・肺炎球菌ワクチン接種に対する当院の取り組み	石田正之	Pfizer プレベナー13® 発売10周年記念全国インターネット講演会	10月23日
薬剤耐性 (AMR) 時代の抗菌薬適正使用 -外来気道感染症へのアプローチ-	石田正之	吾川郡医師会講演会	11月17日 高知
今だから、改めて考える肺炎予防における肺炎球菌ワクチンの重要性	石田正之	MSD 四国感染症 Web セミナー	12月7日

高齢者施設・障がい者施設従事者における感染症・感染対策の基礎知識	石田正之	2023年度高知エリア医療関連感染対策地域支援ネットワーク施設内感染対策研修会	12月21日 高知
----------------------------------	------	---	--------------

論文発表・著書

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
Invasive Haemophilus influenzae disease among adults in Japan during 2014-2018.	Hachisu Y, Tamura K, Murakami K, Fujita J, Watanabe H, Tanabe Y, Kuronuma K, Kubota T, Oshima K, Maruyama T, Kasahara K, Nishi J, Abe S, Nakamura M, Kubota M, Hirai S, Ishioka T, Ikenoue C, Fukusumi M, Sunagawa T, Suzuki M, Akeda Y, Oishi K; Adult IHD Study Group.	Infection.	Vol.51 pp.355-364
Effectiveness of mRNA COVID-19 vaccines against symptomatic SARS-CoV-2 infections during the SARS-CoV-2 Omicron BA.1 and BA.2 epidemic in Japan: vaccine effectiveness real-time surveillance for SARS-CoV-2 (VERSUS).	Maeda H, Saito N, Igarashi A, Ishida M, Terada M, Ito T, Ikeda H, Kamura H, Motohashi I, Kimura Y, Komino M, Arai H, Kuwamitsu O, Akuzawa N, Sando E, Morikawa T, Imura H, Inoue H, Hayakawa T, Teshigahara O, Ohara Y, Suzuki M, Morimoto K	Expert Rev Vaccines.	Vol.22 pp.288-298
Clinically defined aspiration pneumonia is an independent risk factor associated with long-term hospital stay: a prospective cohort study.	Wakabayashi T, Hamaguchi S, Morimoto K; Adult Pneumonia Study Group – Japan	BMC Pulm Med.	Vol.23 pp.351
Pulmonary hypertension secondary to interstitial fibrosis with pulmonary venous lesions masquerading pulmonary veno-occlusive disease.	Nakayama H, Ishida M, Nakaoka H, Nishimura Y, Imai RI, Sugane H, Hosoda H, Nakaoka Y, Nishida K, Seki SI, Kubokawa SI, Kawai K, Hamashige N, Doi Y.	Respirol Case Rep.	Vol.11 e01179.
新型コロナウイルスオミクロン株によると推定された院内クラスターにおける医療従事者を対象としたスクリーニング検査	石田 正之, 近森 幹子, 前野 多希, 桜木 陽子, 錦 信吾, 島田 智恵, 黒須 一見	IASR	Vol.43 pp.238-240